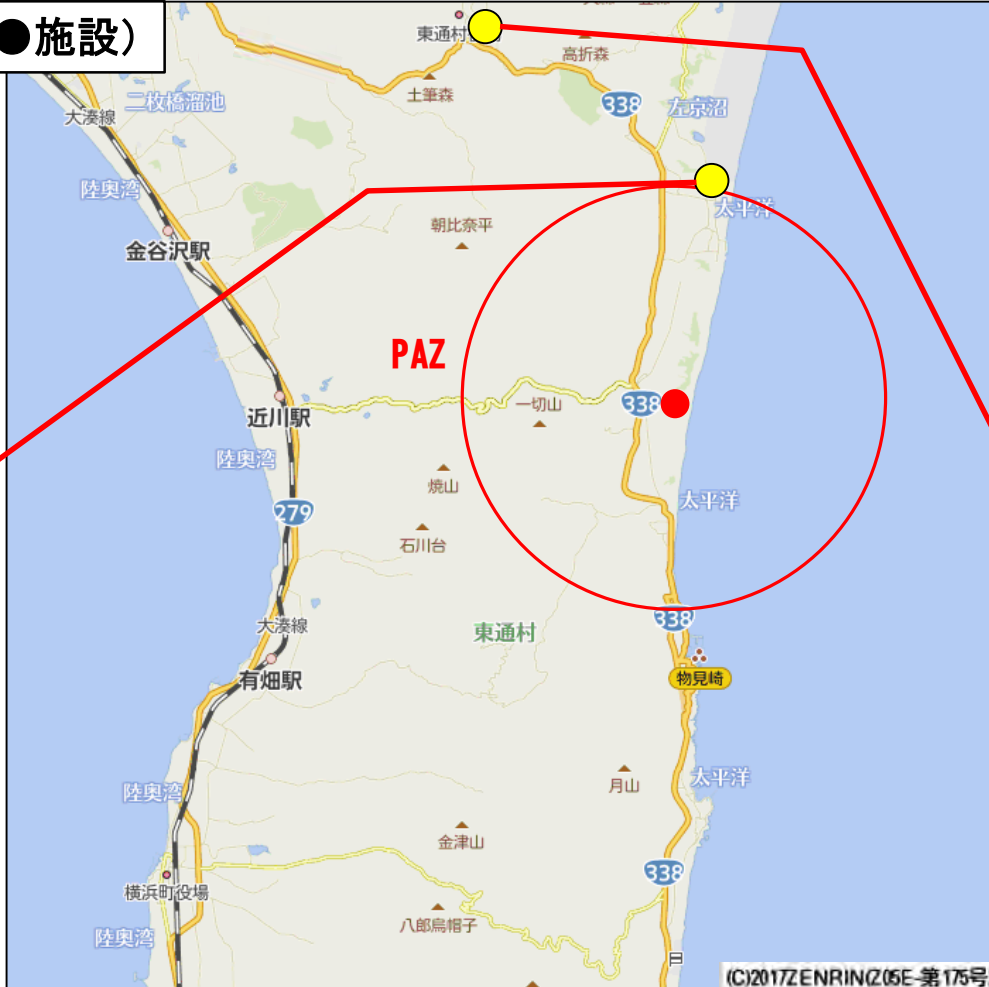


- 避難の実施により健康リスクが高まる者については、輸送等の避難準備が整うまで、放射線防護機能を付加した近傍の放射線防護対策施設(●施設(整備中を含む))へ移動し、屋内退避を実施。【P】
- これら●施設では、施設入所者とPAZ内の在宅の避難行動要支援者等を約●人収容可能。【P】
- また、これら●施設では、屋内退避者のための3日分の食料及び生活物資等を備蓄。【P】

放射線防護対策施設(●施設)

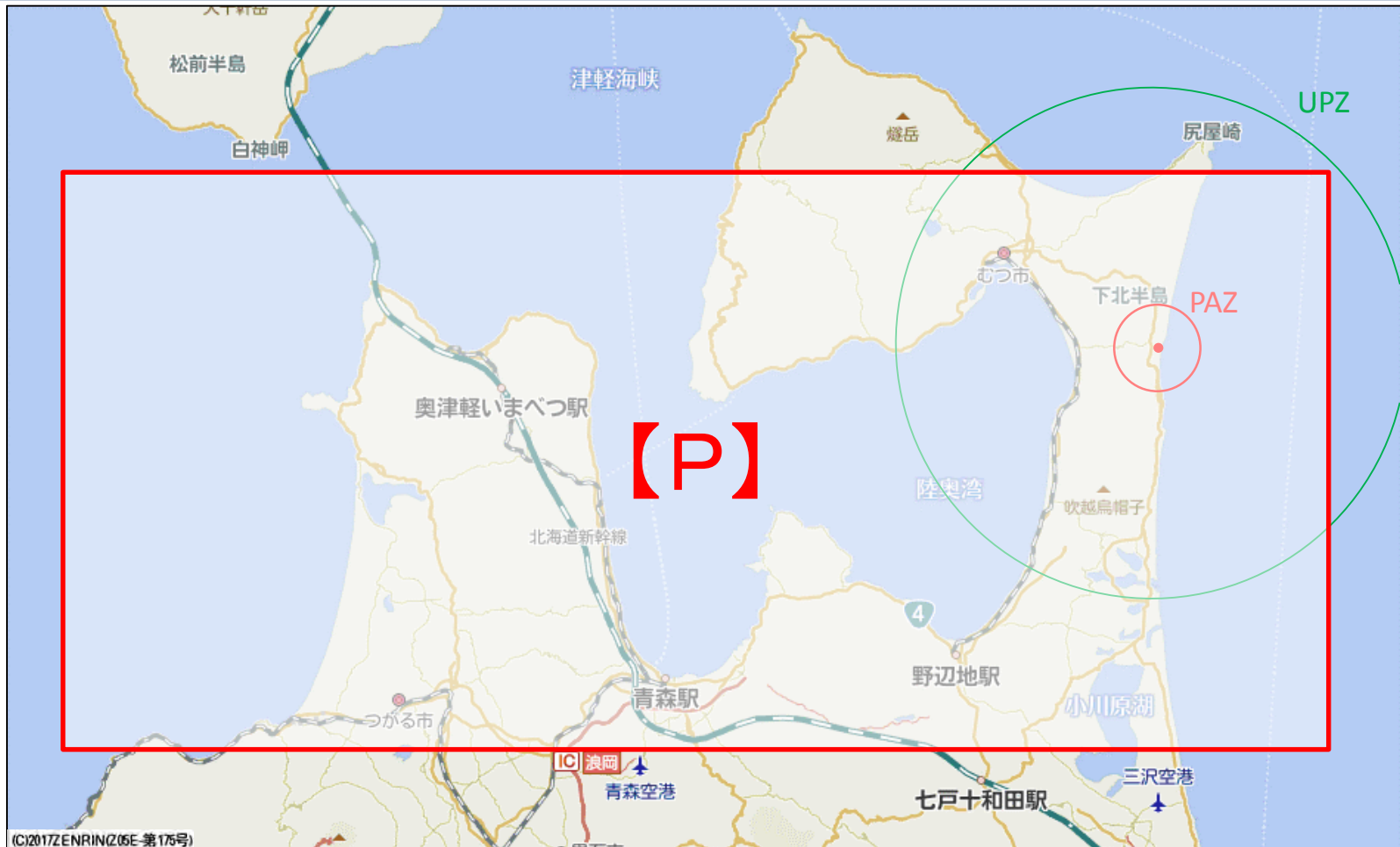


さくらの里ひがしどおり
(収容可能者数:30人)



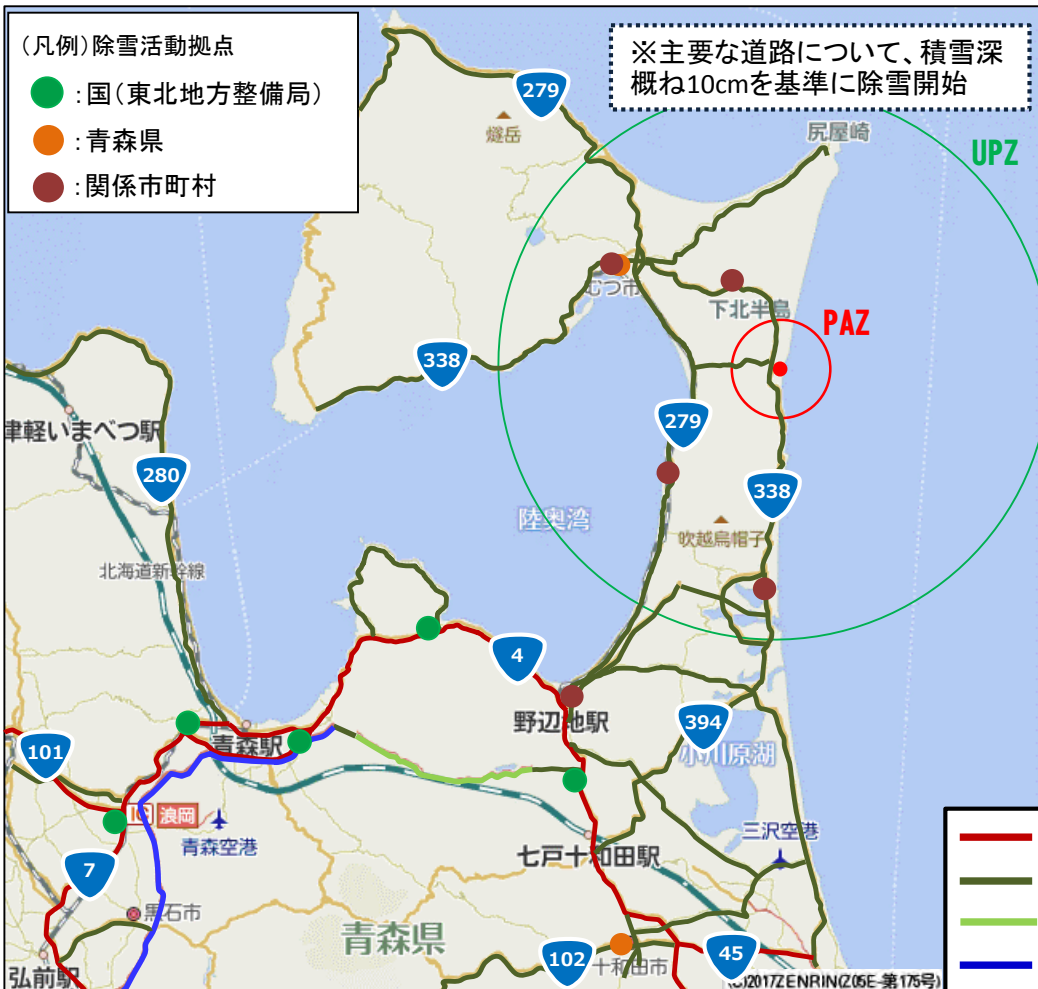
ひがしどおり
東通中学校 ※整備中
(収容可能者数:350人)

- 避難開始前の段階で、避難計画で避難経路として定められている道路等が、自然災害等により使用できない場合は、青森県及び東通村は、代替経路を設定するとともに、道路等の管理者は復旧作業を実施。【P】
- 「●●」に基づき、・・・啓開。【P】



降雪時の避難経路の確保【P】

- 青森県は地域防災計画に基づき毎年度除雪事業計画を定め、路線の重要性等を考慮してあらかじめ除雪路線を設定し、当該路線毎の除雪作業目標に従い、適切に除雪を実施。
- 直轄国道及び高速道路については、国土交通省東北地方整備局及び高速道路会社（NEXCO）が、除雪体制の強化を図り、各関係機関の緊密な連携の下、各機関の除雪計画に基づき適切な除雪、凍結防止等の対策を行い、冬期間の交通の確保等に努める。



除雪機械(例)



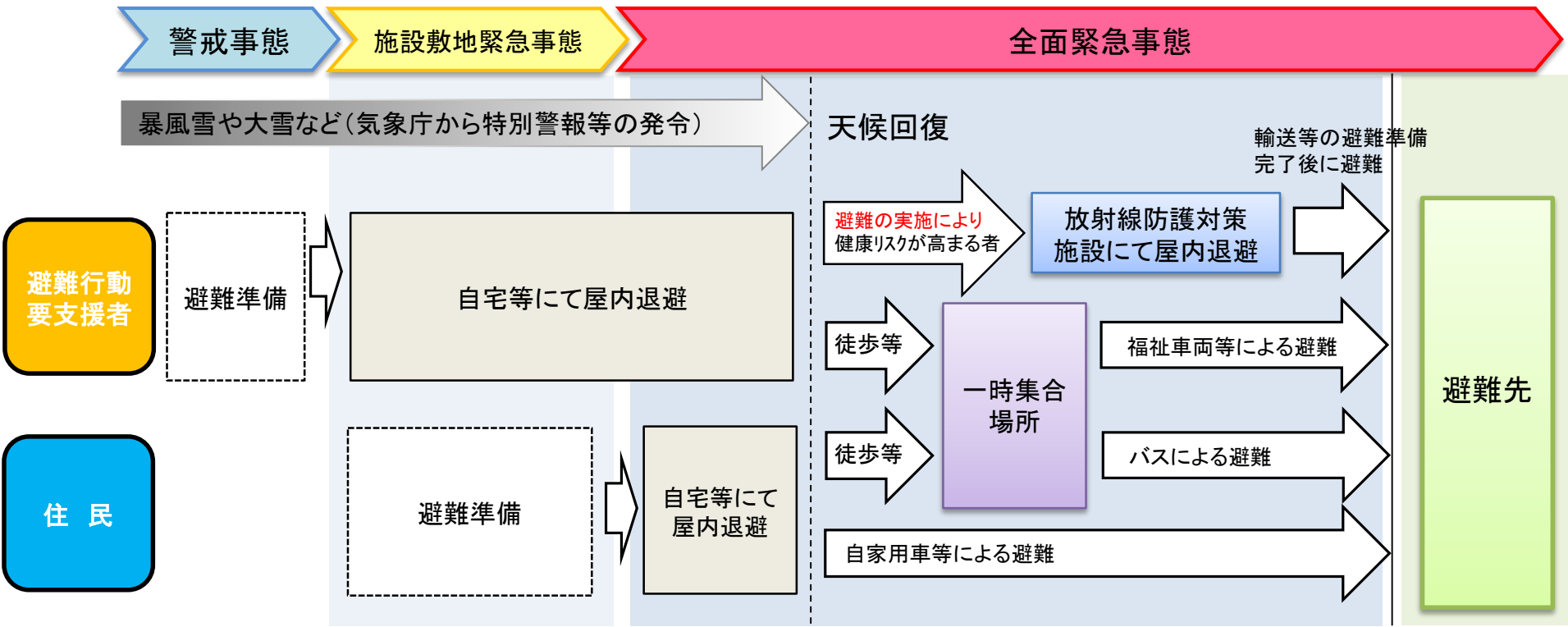
原子力災害対策重点区域5市町村を中心とした除雪機械の配備台数		ひがしどおりむら うち、東通村
国(東北地方整備局)※1	69台	—
青森県	67台	9台
関係市町村	59台	9台
民間	397台	26台
青森県道路公社	3台	—
高速道路会社(NEXCO)※2	32台	—

※1 青森県内の配備数
 ※2 東日本高速道路(株)東北支社青森管理事務所の保有台数
 ※3 台数は平成28年4月30日現在

- 国道4号、7号、45号、101号(国)
- 国道102号、279号、280号、338号、394号、県道(青森県)
- みちのく道路(青森県道路公社)
- 青森自動車道、東北自動車道(高速道路会社(NEXCO))

- 暴風雪や大雪など、気象庁から特別警報等が発令された場合には、外出を控える等の安全確保を優先する必要があるため、PAZ内の避難行動要支援者及び住民は、天候が回復して安全が確保されるまでは屋内退避を優先し、天候回復後に避難を実施。また、**避難の実施により健康リスクが高まる者は、近傍の放射線防護対策施設にて屋内退避を実施。【P】**
- なお、**全面緊急事態となった段階で天候が回復し**、避難を実施する際には、国及び青森県等は、避難経路や避難手段の**ほか**、国が提供する原子力発電所の状況や緊急時モニタリングの結果、気象情報等について、**確認・調整等を行う。【P】**

<全面緊急事態で天候が回復した場合>



5. PAZ内の全面緊急事態 における対応

<対応のポイント>

1. 自家用車による避難ができない住民の移動手段(バス等)を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先施設の受入れ体制を整えること。
3. 安定剤素剤を持っていない者(紛失等)に、緊急配布すること。